令和８年度

盛岡市・文京区学生と創る アグリイノベーション事業 中間報告会

跡見学園女子大学
浅見一花・小川舞憂子・神戸美紅・近藤ほのか

目次

01　調査テーマ・概要説明

02　調査・研究に係る仮説

03　調査対象・調査事項

04　現時点で把握できた事項

05　今後の調査及び研究の進め方

06　今期（令和8年度終了時点）の成果目標



PhotoAuthor による ThePhoto は CCYYSA の下でライセンスされています。

肉用牛生産農家のグループおよびグループ活動促進方策の研究調査

対象	調査・研究内容
黒毛和牛繁殖農家	女性グループの活動支援のあり方を検討
短角牛繁殖農家	グループ化に向けた方策を検討

→それぞれの具体的な活動を通じて、調査・研究を実施

02　調査・結果に係る仮説

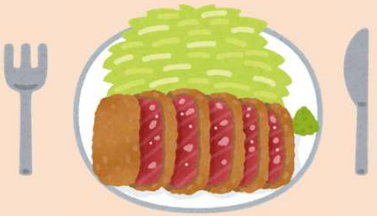
②-1　過年度までの成果から得られた仮説

①認知度向上	②農家同士の活動	③活動から見えてきたこと
牧野見学ツアー もりおか短角牛フェア	おでん販売イベント	🤝一緒に活動する楽しさ 👥消費者との交流 ✨仕事のやりがい

農家が一緒に活動する機会を増やすことで、農家グループの形成・活動の継続につながるのではないか

02　調査・結果に係る仮説

②-２　消費者とのつながりを持つことの意義の検証

繁殖農家	肥育農家	消費者
 種付け・出産 ↓ 約10か月育成	 子牛を肥育 ↓ 大きく育てて出荷	食肉として消費 
25～30kg→約300kg	約300kg→700～800kg	

繁殖農家に着目すると．．．

　約20か月にわたり生産を担う一方、消費者と直接接する機会が少ない

消費者とのつながりを持つことに着目

02　調査・結果に係る仮説

②-２　消費者とのつながりを持つことの意義の検証

①消費者との接点	②消費者の反応を知る	③自分の仕事を実感できる	④農業へのやりがい
消費者と直接関わる機会を持つ	「おいしかった」「頑張ってくれてありがとう」などの声をもらう	自分たちの育てた牛が食卓に届くことを知る	仕事の価値観を実感しやりがいにつながる

農家さんの声

「消費者と接する機会が得られた」、「日頃の仕事にやりがいを感じた」、「こうした活動を継続していくことが必要」

消費者とのつながりを持つことで、
農業へのやりがいにつながるのではないか

02　調査・結果に係る仮説

②-２　女性農業者グループの活動から得られた視点



食育・安心安全な食材



子供たちに
畜産農業の魅力を伝える



将来の消費者・後継者づくり

**畜産農業の普及・啓発
につながる
新たなルーツづくりが
必要ではないか**

03　調査対象・調査事項

消費者と繋がる新たな新メニュー開発と販売イベント

調査対象：短角牛繁殖農家、メニュー開発および調理実施に興味を持ってもらえる事業者

調査事項：もりおか短角牛の特徴を活かした新しいメニューづくり

・若手農家が意欲を感じることのできるメニュー、盛岡市の新たな名物となるメニュー
・営業ができる体制づくり（営業許可）
・販売価格の確保
・調理から販売のオペレーションのあり方　　など

03　調査対象・調査事項

繁殖農家の仕事を普及･啓発できる冊子づくり

調査対象：黒毛和牛繁殖農家　冊子内容に関する専門家（監修）
小学生向け情報誌等（情報の見せ方など）
調査事項：提供すべき情報とその見せ方

・母牛や子牛の生育過程における農家の関わり場面
・上記の場面ごとの伝えるべき内容
・小学生向け情報誌等における情報の見せ方　　など

０４現時点で把握できた事項

1. 妊娠・出産
2. 食事
3. 飼育方法
4. 病気や怪我のリスク
5. 出荷時の牛の状態
6. 岩手で飼育する魅力



PhotoAuthor による ThePhoto は CCYYSA の下でライセンスされています。

妊娠・出産

妊娠	出産の予兆	出産	産後
母牛の妊娠確認 ・獣医による診断 ・種付けの日数から逆算	・体温の低下 ・陣痛 ・乳房の張り ・多動や落ち着きがなくなる	自然分娩を基本としているが、破水から二時間以上の経過、逆子、子宮捻転などは帝王切開などの処置	産後すぐ仔牛登録をすることで和牛と認められる 個体の識別が可能になる

難産になることで、母牛、仔牛の命の危険や、育児放棄につながる可能性がある

【出産後】
母牛が仔牛の体の羊水を舐めとり、自力で親の乳まで行くことで、初乳を飲むことができる

【初乳】
母牛の持つワクチンの成分や免疫が含まれている
飲むことで仔牛の免疫力が高まる



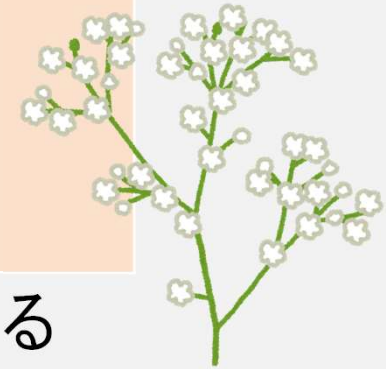
PhotoAuthor による ThePhoto は CCYYSA の下でライセンスされています。

・免疫力のない仔牛にとって初乳は必要不可欠な栄養素

食事



出産後 ～２ヶ月	２～3ヶ月	３～４ヶ月	４ヶ月以降
ミルク・乳	スターター	育成配合飼料	草



肉となる雄牛は5ヶ月で去勢、筋肉の発達を止める

１日あたり1kgの体重増加を目指す

出荷時、メスはオスより１～２割小さい

飼育方法（主に黒毛和牛）

【親子分離】

・子宮の回復が早い

・次のお産への疲労が少ない

・離すことで仔牛は２～３日鳴き続けることも

【母子飼育】

・子宮の回復が遅い

・初乳の状態によっては病気になるリスクも

・母牛が仔牛を育てる

飼育方法（主に短角牛）

放牧とは
夏季に牧野での生活、冬季に牛舎での飼育

放牧のメリット・デメリット

【メリット】

- 牛の自由
- 青草が主食
- 慣れることで大きくたくましく育つ

【デメリット】

- 集団行動、集団に馴染めず、体が小さくなることも
- 縄張り争い

病気や怪我のリスク

- 牛は自己治癒力が高い
- 換気を怠ると肺炎になるリスクが高まる
- 肺炎は完治することはない
- 冬場に咳、風邪、下痢が多い



PhotoAuthor による ThePhoto は CCYYSA の下でライセンスされています

出荷時の牛の状態

【理想】
- 血統
- 体重
- 毛並み
- 正面から見て真っすぐな体格
- 背中から腹部への長さ
- 太ももの太さ、丈夫さ



PhotoAuthor による ThePhoto は CCYYSA の下でライセンスされています。

- 出荷から3ヶ月前までの病気、怪我はせりの際に申告する必要がある

盛岡で飼育する魅力

- 自然、森林の豊かさ
- 空気、水のきれいさ
- 災害が少ない
- 盛岡市民の市民性

→**20ヶ月もの間根気強く牛を飼育できる我慢強さ**

０５今後の調査及び研究の進め方

⑤_1消費者とつながる新な新メニュー開発と販売イベント

農家さんの意向に合った
メニュー開発の
実施（MTG、試作）

農家さんと
飲食事業所との
マッチング

試食イベントの
実施

上記活動を通じてグループ化形成機運の向上
協働活動がグループ化形成に寄与することを検証

０５今後の調査及び研究の進め方

⑤_2繁殖農家の仕事を普及・啓発できる冊子づくり

畜産農家の仕事を紹介する冊子「ビーフブリーダーってなに？」づくり

小学生に興味・関心を持ってもらうための工夫調査

冊子の電子書籍化

（できれば）小学生に実際に配布、感想等を把握

女性グループならではの取り組み

０６今期の成果目標

短角牛繁殖農家の
グループ化
（令和9年度に
グループを形成し
自主事業を実施）

黒毛和牛繁殖農家
女性グループの
活動推進
（情報冊子の作成）